

平成 29 年度

おめでとうございます！

祝

文化庁映画賞 映画功労部門 受賞

矢部 一男 氏



平成 29 年度（第 15 回）文化庁映画賞贈呈式

平成 29 年 10 月 25 日 六本木ヒルズ グランドハイアット東京

矢部 一男（やべ かずお）

1955 年（昭和 30 年）日活撮影所に照明助手として入社し、映画の全盛期の撮影現場で多くの作品に関わる。『青い獣 ひそかな愉しみ』（武田一成 1978）で照明技師となり、以来 140 本ほどの作品がある。映画五社照明スタッフの交流親睦会として 1959 年（昭和 34 年）に設立された日本映画照明新人協会（現・日本映画テレビ照明協会）には、設立時から日活支部会員として参加。主な作品は、『家族ゲーム』（森田芳光 1983）『それから』（森田芳光 1985）『天と地と』（角川春樹 1990）『ミンボーの女』（伊丹十三 1992）『渚のシンドバッド』（橋口亮輔 1995）『月とキャベツ』（篠原哲雄 1996）『シベリア超特急 2』（水野晴郎 2001）『ピストルオペラ』（鈴木清順 2001）『海は見ていた』（熊井啓 2002）『オペレッタ狸御殿』（鈴木清順 2005）『蒼き狼～地果て海尽きるまで～』（澤井信一郎 2007）『ぐるりのこと。』（橋口亮輔 2008）など。

日本映画テレビ照明協会では、機関誌「映像照明」の編集委員を永らく担当しており、2015 年（平成 27 年）まで理事を務めた。照明技師として活躍する一方、日活芸術学院、城西国際大学などで講師を務め、新人教育の育成にも熱意をもって尽力した。

日本アカデミー賞 最優秀照明賞 第 9 回『それから』『CHECKERS in TAN TAN たぬき』
優秀照明賞 第 14 回『天と地と』『大迷惑トラブルコメディ どっちもどっち』
日本映画テレビ照明協会 照明技術賞 劇映画部門 第 17 回昭和 60 年度 特別賞 『それから』
日本映画テレビ技術協会 日本映画技術賞 第 39 回（1985）特別賞 『それから』

